



知ろう 障害のある人たちの アートのコト 表現のコト

開催日時

22(土)
10:00~17:00

場所

小川町立図書館
視聴覚ホール

定員:50名(申込み先着順) 参加費:無料
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

【講師】鹿野 淳 (音楽ジャーナリスト
出版社(株)FACT代表取締役)

【研修内容】

- 障害のある人たちのアートの取り組みの紹介
- (講演)『知ろう 表現のコト』 講師:鹿野淳氏
- トークセッション

申込み方法・お問合せ

- ①お名前 ②参加人数 ③連絡先電話番号を
下記の電話もしくはメールにてご連絡ください。

社会福祉法人 昂

ART(s)さいほく事務局

〒355-0077 東松山市上唐子1532-5
まちこうばGROOVIN'内

Eメール:

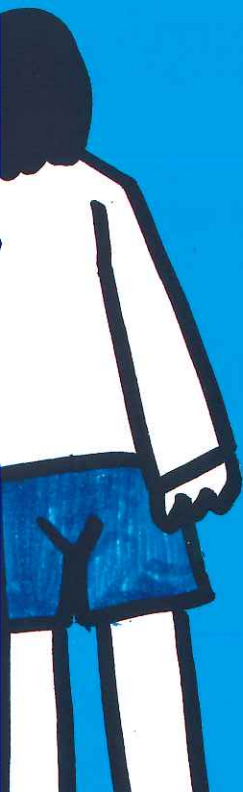
arts_saihoku@subaru-swc.com

Tel:0493-81-4597

※電話受け付けは平日10:00~17:00まで。

時間外は留守番電話での対応になります。

※年末年始12月29日(水)~1月4日(火)は事務局がお休みの為、
受付のお返事は1月5日以降になります。



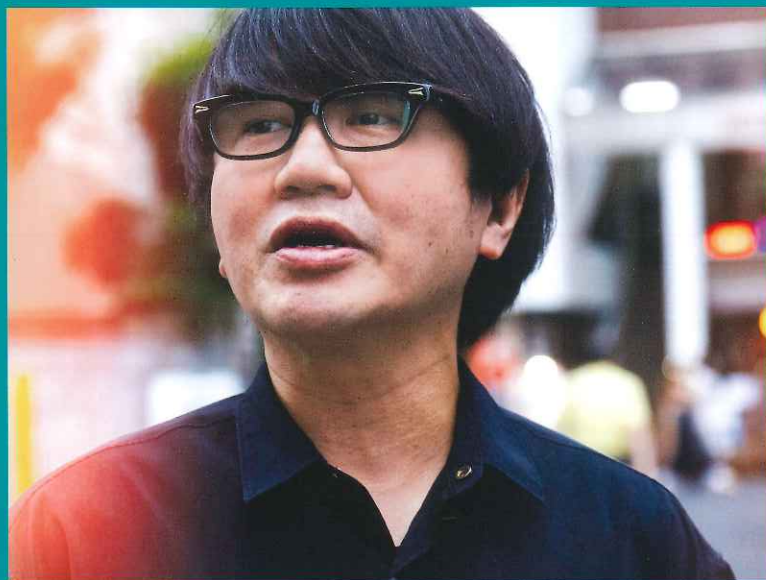
知ろう!さまざまな視点から

障害のある人たちの作品や表現の魅力のひとつにあげられるのは、その世界観・表現方法にあるといえます。それだけにアート活動の支援には様々な角度からの視点や気づきが求められるのではないかと考えます。そしてときに作者に代わって作品について語る場面もあります。

本研修では音楽ジャーナリストの鹿野淳氏を迎え、アーティストや作品との向き合い方、言葉や文章にするとき大切にしていることなどをお話しいたします。

表現への理解・関心を深めるヒントになれば幸いです。

講師紹介



音楽ジャーナリスト
出版社(株)FACT代表取締役 **鹿野 淳**

1990年(株)ロッキング・オン入社。その後、『ROCKIN' ON JAPAN』の編集長を歴任。2004年(株)FACTを設立。2006年にサッカーカルチャー雑誌『MUSICA(ムジカ)』を創刊。

フェスプロデューサーとしても『ROCK IN JAPAN FES』に始まり、『COUNT DOWN JAPAN』『ROCKS TOKYO』などに初回からオーガナイザーとして関わり、現在は埼玉県最大のロックフェス『VIVA LA ROCK』の主催とプロデュースを手掛け、4日間通じて毎年8万2千人以上が集まる、春フェス最大級のフェスに成長した。その他、編集/執筆活動のほかテレビやラジオ出演、音楽ジャーナリスト養成所『音小屋』の開校等、音楽ジャーナリズム全般をクロスオーバーさせている。

【同時開催】
アートセッションズ
in

さいほく2022
1月20日(木)~23日(日)

小川町立図書館
町民ギャラリー

※東松山市・比企郡の障害のある人たちの
作品を展示いたします。

↓情報や活動の様子はコチラから↓



【会場までのアクセス】

住所：埼玉県比企郡小川町大字大塚99番地1
東武東上線「小川町」駅より徒歩8分

新型コロナウイルス感染予防について以下に取り組みます。

●アルコールと消毒液の設置 ●館内消毒 ●換気 ●広めの席配置 ●参加者とスタッフの検温 ●マスクの着用 ●参加者の連絡先の把握等
※状況の変化に伴う延期・中止のご連絡は、個別に電話やEメール等でご連絡いたします。